



干ばつの大地に 用水路を拓く

ペシャワール会

中村 哲 医師 追悼

2020 年

4/22 [水]

▶ 28 [火]

石川県庁 19階
展望ロビー

入場無料

企画へのカンパ(1口500円)にご協力をお願いします。

■ パネル展示

4/22[水] → 28[火] 10:00~18:00 (最終日は15:00まで)

■ DVD上映会

4/25[土] ①10:30 ②13:00

4/26[日] ①10:30 ②13:00 ③15:00

■ 講演会

[演者]

ペシャワール会 理事 福元 満治さん

4/25[土] 15:00~16:30

主催

NPO法人未来塾・大人の学び、市民の政策研究会くるま座、学び舎 美ら海
[問合せ先] 080-2956-4071(未来塾)、090-3677-3364(くるま座)、090-1394-2779(美ら海)

[後援]

北國新聞社、北陸中日新聞、朝日新聞金沢総局、毎日新聞北陸総局、読売新聞北陸支社、北陸放送、石川テレビ
HAB北陸朝日放送、テレビ金沢



ペシャワール会活動模様

〈中村哲さんのプロフィール・人柄〉

1946年、福岡市（現在の博多区堅粕）生まれ。福岡県立福岡高校を経て1973年九州大学医学部（脳神経内科）を卒業した。国内病院勤務ののち1984年、日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）からパキスタン・ペシャワールに赴任。以来ハンセン病を中心とする医療活動に従事。登山と昆虫採集が趣味。

2004年、皇居に招かれ両陛下にアフガニスタンの現況報告を行った。

西南学院中学校在学中に日本バプテスト連盟香住ヶ丘バプテスト教会で浸礼を受けた。自身はクリスチャンであるが、現地の人々の信仰や価値観に最大限の敬意を表しながら活動を続けモスクや神学校の建設を行った。

2010年、水があれば多くの病気と帰還難民問題を解決できるとして、福岡県の山田堰をモデルにして建設していたクナル川からガンベリー砂漠まで総延長25kmを超える用水路が完成した。約10万人の農民が暮らしていける基盤を造った。

アフガニスタンは2001年米国テロ攻撃以来、米軍等にアルカイダ掃討にさらされて来たが、「9条がバックボーンをして僕らの活動を支えてくれた。それが日本と言う国の平和憲法、9条ですよ。現地の人もわかっているから、政府側も反政府側も、タリバンだって我々に手を出さない。敵を作らず平和な信頼関係を築くことが一番の安全保障だ」と語っている。

- ・小説家の火野葦平は母方の伯父である（妹が中村の母）
- ・父の中村勉は左翼運動に力を入れ1932年治安維持法で逮捕、懲役2年、執行猶予5年の判決を受けた。中村組を立ち上げ戦後は沈没船のサルベージなどを生業にしていた。
- ・外祖父で港湾荷役業を営んでいた玉井金五郎は映画「花と龍」のモデルとなった。

協力いただいた団体

いしかわ勝手連／いしかわ市民連合／いしかわ教育総合研究所／いしかわ県民教育文化センター／石川県健康友の会連合会／石川県憲法を守る会／石川県宗教者平和協議会／石川県平和委員会／石川県平和運動センター／石川憲法会議／石川県保険医協会／石川県民主医療機関連合会／石川県労働組合総連合／加賀九条の会／九条の会・石川ネット／小立野・犀川ロード九条の会／こども☆未来☆教科書@金沢／志賀原発・命のネットワーク／真宗大谷派常讀寺／新日本婦人の会石川県本部／高遠菜穂子イラク支援活動を支える会 in 加賀／鶴彬を顕彰する会／寺町九条の会／日本バプテスト連盟金沢キリスト教会／はびすまサークル／非核の政府を求める石川の会／人と地球を愛する会／フェアトレードショップ・アジュール／平和・民主主義・革新の日本をめざす石川の会／みのりクラブ／レコード・ジャングル／和川柳社（50音順）

協力いただいた方々

前田美紀子、水野スウ、小原美由紀、西尾雄次、尾西洋子、水口裕子、赤井朱美、五十嵐正博、熊野盛夫、栗森喬、桑原豊、引きよみ、盛本芳久、森一敏、山本由起子、清水文雄、山口俊哉、浅野俊二、阿木幹子、田中美絵子、喜成清恵、浅田正文、浅田真理子、佐藤正幸、森尾嘉昭、広田みよ、大桑初枝、小野栄子、今村憲一、川島靖、出口威、吉村雪子、林秀樹、幅崎功、前後和夫、國分大慶

掲載できなかったグループ名やお名前は別途報告させていただきます。